

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2021年2月26日

事業所名 みつば園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・プレイルームの広い壁を利用して、子ども達の季節の壁画等を飾り、子ども達の作品を生かして季節感も感じられるよう工夫しています。 ・活動内容や発達に応じて部屋を分けたり、クールダウンができる部屋を設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	・基本的に指導員一人に対してお子様二人の配置になっていますが、必要に応じて個別に対応できるようにしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・段差やスロープ、トイレ等、バリアフリー設計になっています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・定期的にミーティングを開催し、情報共有を行っています。 ・支援後に振り返りを行い、職員間で話し合いをし、支援内容の確認と把握を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・ご意見等を参考に改善に努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・ホームページで公開しています。

	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・今後、取り組んでいきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・ビジネスマナーや事例検討ワークなどの研修を行い、指導員さんにもお伝えしています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・モニタリングの際に保護者の方の思いをお聞きし、個別支援会議を設けて職員間で話し合いを行い、作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・利用者登録カードに記入して頂き、状況把握に努めています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	・ミーティングや活動後に職員全員で話し合い、みなさんのご意見を参考にプログラムを考えています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	・曜日ごとのプログラムで、マンネリ化や固定化を避け、楽しく取り組んでいただける活動を日々工夫しています。・集団で行うものと発達に応じて行うものを分けたり、活動を通して様々な経験を積めるよう工夫しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・長期休暇ならではの体験ができる活動等の工夫を行っています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	・個人の希望や園での活動を考えながら利用児の状況に応じて目標設定し作成しています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・週間の予定や担当者、送迎などをプログラム前に職員間で確認をし、安心して活動に取り組める様に努めています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・デイサービス終了後に職員で話合う時間を作り、できた事やつまづいているところ等報告し合い情報共有できるように努めています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・指導員全員が把握できるよう、記録を詳細にとっています。・日誌や個別ファイルに記録し、様子を見返せるようにしています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	・モニタリングの場で計画の確認、見直しをしています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	・ガイドラインに記入されている内容を組み合わせた活動を行っています。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・責任者が参加しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	・年間計画や行事予定表のお知らせを頂いています。・トラブル発生時や連絡調整は責任者が行っています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	・現在、医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・情報共有に努めています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・小学生を対象とするデイサービスなので該当なしです。進級時には次の事業所にスムーズに移行できるように努めていきます。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・保護者には積極的に療育をご案内し、その後の助言等を共有しています。・連携し、より良い適切な支援の向上に努めています。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・現在は感染予防の為、児童館の利用はありませんが、状況に応じて活用し、交流をもっていきたいと思っています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	・現在参加はできてませんが、今後は参加していきたいと考えています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	・保護者の方とご利用日には毎回申し送りをを行い、発達の状況や課題について共通理解が図れるように努めています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	・面談やお迎えの際に、ご相談や助言ができるよう心がけています。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	・契約時に読み合わせを行い、説明を行っています。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	・ご相談を受けた際にはお話しをよく伺い、少しでも悩みが軽くなるような対応ができるように心がけています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・現在コロナ感染予防の為お休みしていますが、また、開催できるよう努めたいです。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・迅速に対応できるよう努めています。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	・おたよりの発行がなかなかできていなかったもので、二カ月に一度発行できるよう努めています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	・職員間で十分意識し合い、注意しながら取り扱っています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	・写真カードやタイマー等、視覚からの情報を取り入れながら支援しています。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	・現在は感染予防の為、行えていませんが、近隣の高齢者グループホームに訪問し交流させて頂いています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・マニュアルを提示し職員間での周知に努めます。また、保護者の方にも適切にお伝えできるよう努めていきます。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・定期的に避難訓練を行い、職員、児童共に災害時での行動の意識付けを行い、災害発生時に備えて対応できるよう努めています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・県からのチェックシートなどを活用して意識を高めたり、あかりの思いを職員間で確認し合っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・個別支計画書に記載し、保護者様の承諾を得ています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・アレルギーの有無の用紙を記入して頂き、対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・作成をし、情報共有、周知に努めています。